

第二回防災訓練

「栄二防災推進委員会」
主催

北多摩西武消防署による救命救急と応急処置

初期消火



消防署の方から準備された消火器 5本と、消火目的となる的が一つ。的に向かって、皆で一斉に放水する。上手く当たると、的(描かれた火事の絵)がぐるぐる回る。ゲーム性のある初期消火(消火器の使い方)の練習になりました。

「もっと大きな声が出せたらなあ…」

この後、室内でAEDの取り扱い方や、怪我をした時の応急手当の方法等を行いました。

近年、119を簡単にかけられての、救急車依頼が増えています。日常生活の中で、救急車を呼ぶか否かを迷った時は「#7119へ電話を」と話されていました。

「淡路阪神大震災」被災時のときの悲惨なまでに汚れて使えない状態のトイレのパネル写真には痛感。いざとなったら大変だろうと想像できます。トイレのことは生活に欠かせない問題です。色々考え、備えましょう。



第二部に入って、会長による「段ボールトイレを作る」があり、説明をしながらの実演に、みんな「なるほど〜」と一生懸命見入っていました。簡易トイレの準備は重要なことと思ひ、トイレ用品に関しては少し揃えてありますが、まだこれからだと思うところです。一度は実際に作ってみると良いのでは…。



使えますか?

今回実施の訓練

いろいろ

吹き出し訓練



チームリーダーによる安否確認訓練



段ボールで作ろう簡易トイレ

エコミー症候群予防体操

「無事」の小さい黄色のパネル、今回も掲げてくださった方、ご協力ありがとうございました。

災害が起きたら、まずは家族が一番、安全が確認でき、余裕が出来たら隣り近所へと地域内の助け合いの気持が育つてくれます。今回、安否確認訓練にも使いました黄色の「無事」の

「無事」パネル、掲げて頂けたのでホッとしました。これも防災への心構えと言えるでしょうか。下記はアンケート結果です。未だの方は試してみ下さい。

「無事」を確認できたのは76世帯中58世帯でした。参加者全員とはいじませんが、アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。

防災委員長(山内)談

6月23日(日) 役員さん連は午前8時集合。9時、拠点を南街区自治会集会所におき、「地域防災何が大変!」にて訓練開始です。「防災意識を高める為に自分達に出来ること」で実施しております。大勢の方にご参加頂き、やる側としては感謝です。



無事の確認に回るチームリーダー

今回のパネルは「終了後は、各家庭での収納そして、災害発生時、必要と感したときに掲げて下さい」とのお願いで実施しました。周知出来ていなかったのか、掲げたままの状態が、数件見受けられました。前回は、訓練終了後、「無事」目印を本部側で回収したため、勘違いされたと思われる。反省するとともに、よりやり易い方向性と周知に努めるべきと思います。更なる「理解」と「協力」をお願い致します。

炊き出し訓練

昨年は、ポリ袋で作るカレー(湯煎炊き)もありましたが、今年は普通のカレーだけです。人参は、プロセッサ(手動式)でみじん切り、ジャガ芋や玉葱も普段より小さめに切る。切った野菜等は卓上コンロ3台で下煮をする。仕上げは、柔らかくなった具(3個の大鍋)を、寸胴鍋に投入(笑)、さらに煮込み、仕上げ。

カレーが出来あがる頃なのに、ご飯がまだ…「どうするの?」「担当は誰?」とあたふたする私、そんなとき南街・桜が丘地域防災協議会の本部長(岡田)さんが傍にいらして、手ほどきしてくれました。

段ボールに入った加工米50食分、ビニール袋の上方に記された位置までたっぷりのお湯を入れ待つこと45分! とにかくご飯が間に合わず失礼しました。

12時には出来上がりでしたが、その前に掃られた方ごめんなさい。アルファー化米は、非常食にピッタリ。お湯を入れるだけで、美味しいご飯の出来上がり。試食開始予定は12時半でした。その前に出来上がって再再来て、試食し欲しかったです。今回は少しゆるくて甘口カレーの出来あがりでした。ちなみに先に作ったアルファー化米のおこわも、美味しかったと好評でした。次回は是非食べてみて下さい。



エコミー症候群予防体操



踵トントンに始まり椅子に腰かけ、グルグルと足首や、足の指を、引っ張ったり回したりして刺激、ふくらはぎの血流をよくすると良いとのこと。みんな楽しそう。若い人も高齢者も輪になって「運動になるわ」と、ニコニコ笑顔で体操をしていた。

「もしもしカメよ!カメさんよ〜」や「♪桃太郎さんももたらうさん〜」の歌も飛び出して、脳トレも交えての体操。参加して下さった皆さんの笑顔に助けられとても良いことだと思いました。

日頃の発声練習や体操がお役に立てたかな…。

「防災訓練」は地域の底力を高める活動ですね。

今月号は申し訳なく思いますが「防災訓練」一色になりました。それでも、にっこり仲間と地域の動きと声を伝えたくて…。

編集責任 大月 恵美子

いつ来るか分からない自然災害の職務に当たる方のご指導に参加できて光栄に思いました。また、災害時における衛生面等、日頃の心構えが如何に大事かということの再確認もできました。

一人暮らしである私自身、改めて地域の方々の連携の重要性を感じました。いつ起こるか分からない災害に備えて今回の「無事」のパネルは、すぐ用意できるように玄関などに置いておくことが大切ですね。

「栄二自治会防災訓練」についてのアンケート集計表 (回収28/30)

- ①自治会に防災推進委員会の組織があることを知っていましたか?
知っている(27) 知らなかった(1)
 - ②当自治会の「防災推進委員会」で『安否の確認を実施すること』の訓練をしているをご存知ですか?
知っている(28) 知らなかった(0) 必要ないと思う(0)
 - ③『安否確認』(黄色の目印)を事前に配布しましたが、お手元に届きましたか?
届いた(28) 届かない(0) あることさえ知らない(0)
 - ④訓練内容をどう思われますか?
満足している(26) 不満(0) どちらとも言えない(2)
 - ⑤東大和市や他の団体から配布されている「防災」関連の冊子をお持ちですか?
持っている(25) 持っていたが無くなった(0) 持っていない(3)
 - ⑥持っている方にお聞きします活用されていますか?例えば防災や防災知として心がけている。
活用している(18) 活用していない(5) 興味が無い(0) どちらとも言えない(3)
 - ⑦「自治体」や「南街・桜が丘地域防災協議会」の防災訓練に参加していますか?
いつも参加する(7) ときどき参加する(16) ほとんど参加しない(5)
 - ⑧「防災」について日頃から心がけている(18) 分かっているが出来ていない(10) 気にしていない(0)
 - ⑨非常時持ち出し袋について準備している(14) 準備していない(11) どちらとも言えない(3)
 - ⑩最後に「安否確認」の為に家族状況等の把握をする必要があると思われそうですが、それについてどのように思われますか?
要請があれば協力する(25) 必要ないと思う(0) どちらとも言えない(3)
- ※参加された方で用紙をお渡しできなかった方、また参加されなかった方は、省かせて頂いています。このアンケート用紙で試してみ下さい。

今回防災訓練で実施した調査で、当自治会会員様の防災意識の高さや考え方は、私の思っていた以上に驚きでしたが、同時に嬉しくも思いました。防災訓練にも積極的に、当自治会の「防災推進委員会」の存在も理解して下さい。推進委員会が「住みやすい街づくり」には、家族構成等も必要になってくるのですが、協力頂けるものと確信しました。災害に備えての地域住民の安否確認方法、まだまだ始まったばかりです。多くの方々の御意見を聞き取り、幾度も話し合い煮詰めて、より良いものをめざしながら進める所存です。宜しくお願いします。 <自治会長 大月>